

## 第 6 学年国語科学習指導案

日 時 平成 16 年 6 月 8 日(火)第 2 校時  
場 所 6 年 組教室  
児童数 名(男子 名 女子 名)  
授業者 井上久美子

### 1、単元名 学級討論会をしよう

#### 2、指導の立場

##### (1)単元について

本単元は、児童が興味関心を持った話題をテーマとして討論会形式で主張し合することを通し、目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事を的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりする能力を育てることのできる単元である。また、計画的に話し合おうとする態度を育てることもねらいの一つである。討論会(ディベート)の場を設定するという事で、次のことが中心的な学習内容になると考える。

- ・考えた事や自分の意図が分かるような話の組立てを工夫しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。(話すこと・聞くこと ア)
- ・話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと。(話すこと・聞くこと イ)
- ・自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。(話すこと・聞くこと ウ)

##### (2)児童について

男子 人女子 人の学級である。話し合う力は個人差があり、教科の授業・学級会活動や学年集会の話し合い活動は、考える時間を確保・ヒントの提示を行い、考えを持つ場を設定したり、『拳手反応キャンペーン』(点数方式のカード・個人目標を持たせて毎時間記入)を行ったりと手立てをとってきたが、今だに一部の子で進んでいきがちである。その理由として、考えがまとまらないことや考えを持ってもうまく話せないのではという不安があること、内容に興味関心が持てず人任せになってしまうことが挙げられる。

話す力は、頭括法(結論を先に述べて根拠を述べる)や尾括法(根拠を述べて結論を述べる)は知っていて、前者の発言が多い。しかし、話し合いの内容は、論点に関して説得力のある根拠に基づいた意見による深まりのある話し合いになかなかならない。

聞く力は、聞く大切さは意識している子は多いが、話し手の意図をくみ取り、自分の考えにつなげるようにして聞く力は十分身に付いていない子が多い。

そこで、こうした実態より、今までに経験したことのない「ディベート」という形式を通して、話し合いに主体的に参加する楽しさを味わわせていきたいと考えている。また、相手意識を持った説得力のある発言ができる能力、相手の意図を考えながら聞くことができる能力を育てたいと考えている。

そして、この単元をきっかけに相手の意図をくみ取り、自分の考えにつなげるようにして聞く能力を育て、みんなで高まり合う話し合いができる学習集団にしていきたいと考えている。

### (3)指導について

ディベートのテーマには、子ども達の興味関心のあるもの、話し合う意味のあるものを選んでいきたい。また、十分な取材の時間・班で話し合う時間を設け、自分の考えを資料を提示しながら話す言語活動を位置付けていきたい。そして、多くの子どもに発言する機会を割り振ること、話し方の上手下手のみを評価することなく、話したことを認め、次回もやってみたいという気持ちを大切に指導したい。一方、聞くことでは、具体的な聞く観点をはっきりさせて聞く言語活動を大切に、目的意識を持って聞く力を育てたい。

このような手立てをとることが、自分の考えた事や伝えたい事が相手に伝わる喜びを体験させることにつながり、『伝え合う』楽しさを一人でも多くの子に味わわせることになっていくのではと考えている。

### 3、研究主題に関わって

研究主題「生きてはたらく言語能力の育成 ～自分の考えをもち、自分の言葉で伝える子を求めて～」を受けて高学年では、「考えたことや伝えたいことなどを的確に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができる」を話す・聞くの願う姿として挙げている。

『理解する・表現する・伝え合う』の中では、「伝え合う」楽しさの体験を重点にして、指導を進めていきたいと考えている。

そこで、どの子も考えが持てるテーマを設定する。また、「伝え合う」の二つ要素の一つ「的確に話す」を説得力のある発言ととらえ、ディベートで主張するために班で準備・練習する時間を取り、根拠を明らかにしながら、言葉遣いに気をつけて話す足場作りをさせたい。もう一つ「相手の意図をつかみながら聞く」では、ディベートの場で、聞く観点(相手の意図は何か、自分に伝えたいことは何か)を持たせて取り組ませたいと思う。

これらの具体的な手立ては、研究の具体的な内容の「単元指導計画の工夫」を具現するものである。  
研究の視点

ディベート形式で話し合いを行ったことによって、子ども達に伝え合う楽しさを味わわせることができたか。

### 4、単元のねらい

(話・聞) 自分の立場を明確にし、ディベートで説得力のある発言をすることができる。

(話・聞) 相手の立場や意見を考えながら、話の内容を聞き判断する。

(関心・意欲) 主体的に話し合い、話し合いの楽しさを味わうことができる。

### 5、単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語について知識・理解・技能
ディベートの準備に、意欲的に取り組んでいる。 ディベートの楽しさを感じながら、参加している。	自分の立場を明確にし、根拠に基づいた説得力のある発言をする。 相手の意図や伝えたいことをつかみながら聞く。	話す相手や目的、場などにふさわしい適切な言葉遣いで話そうとする。 聞きやすい声の大きさや速さを考えて話す。

5、単元指導計画(全7時間)

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導援助
1	「説得力のある話し方」 「相手の意図をくみ取る聞き方」などを身につける単元全体の目的と学習内容をつかむことができる。	1 単元の目標を提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ディベートで説得力のある話し方や相手の考えを聞き取る力をつけよう</div> 2 CDを聞き討論会のイメージを持つ。 3 役割・討論の進め方について知る。	・話し方や聞き方に願いを持つことができる。 ・討論会の進め方が大まかに理解できる。	発言 ノート	自分の話し方のよさや課題に注目させる。討論の楽しさに目を向けさせる。
2	自分の意見を持ってディベートに参加することが大切であることが分かり、自分なりの考えを持つことができる。 根拠の明確化や例を挙げるなどで説得力のある話し方ができることを知る。	1 学習課題の提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ディベートの準備に必要なことを話し合おう。</div> 2 ディベートシートに「学級文庫に漫画をおくのはよいか」についての考えを肯定・否定両面の立場で書く。 3 CDを聞きながら説得力のある話し方について話し合う。 4 自分たちのディベートの論題を決定する。 4 役割分担をする。	・シートに話題についての考えを簡潔にまとめて書いている。 ・説得力にある話し方について理解できている。 ・ディベートに意欲を持っている。	発言 観察	興味を持って取り組みるように、いくつかの論題を用意する。 組織や役割を工夫し、どの子も主体的になるようにする。
3	討論会シートに、論題について賛成反対両面の意見を持ち、論題についての考えを深めることができる。	1 学習課題の提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ディベートの準備をしよう。</div> 2 論題について、賛成・反対それぞれの立場の意見をシートにまとめ考えを深める。 3 グループ内で役割を分担し、考えを交流する。	・シートに賛成・反対の立場で意見を書いている。 他の人の意見に気づいている。 準備に積極的である。	シート 観察	それぞれの班での活動場所を工夫し、自分達の作戦を立てるような積極的な気持ちで取り組ませる。
4	討論会の仕方や役割の果たし方について、モデル班の討論を見なが	1 学習課題の提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">モデル班のディベート討論を聞き、自分たちの目標を決めよう。</div> 2 モデルディベートのよさや課題について話し合う	・モデル班のよさや課題に気づいている。 ・目当てを明確に持っている。	発言 観察	モデル班の討論中に説明をしながら理解を進める。モデル班の評価

	<p>ら学ぶことができる。</p>	<p>いて話し合う 3班や自分の目当てを確認する。</p>			
5	<p>話の組立てや言葉遣いにも注意しながら、相手にわかりやすい発言ができるように準備できる。</p>	<p>1 学習課題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>話の組み立て方や話し方に注意して班で練習しよう。</p> </div> <p>2 班でディベートの練習をする。 3 自分の役割の準備をする。</p>	<p>・どの意見から述べるかを考えている。 ・大きな声で練習している。 ・相手を説得する話し方に気を付けている。</p>	<p>班での発言 班での観察</p>	<p>役割ごとの注意事項について確認する。 頭括法や文末表現の指導</p>
6 一 組 目	<p>自分の考えを根拠に基づいてわかりやすく話し、伝え合う楽しさを感じることができる。</p>	<p>1 学習課題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ディベートを行い相手を説得できる意見を発表したり、相手の考えをよく聞いて考えたりしよう。</p> </div> <p>2 ディベートを行う。 3 評価する。</p>	<p>・説得力のある話し方が出来る。 ・メモを読んだりせず自分の言葉で話そうとしている。 ・ディベートの楽しさを感じながら学習している。</p>	<p>発言 観察</p>	<p>根拠の明らかな話し方を価値付ける。 個人の目標について価値付ける。</p>
7 二 組 目	<p>自分の考えを根拠に基づいてわかりやすく話し、伝え合う楽しさを感じることができる。</p>	<p>1 学習課題の提示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ディベートを行い相手を説得できる意見を発表したり、相手の考えをよく聞いて考えたりしよう。</p> </div> <p>2 ディベートを行う。 3 評価する。</p>	<p>・説得力のある話し方が出来る。 ・メモを読んだりせず自分の言葉で話そうとしている。 ・ディベートの楽しさを感じながら学習している。</p>	<p>発言 観察</p>	<p>根拠の明らかな話し方を価値付ける。 個人の目標について価値付ける。</p>

6、本時のねらい

- ・自分の考えを、根拠をはっきりさせながら話すことができる。
- ・話し合いに主体的に参加したり，伝え合ったりする楽しさを味わうことができる。

過程	主な学習活動	指導上の留意点	指導・援助
つ か む  き づ く  ふ か め る  ま と め る	<p>テーマの確認をする。</p> <p>これから第1回ディベートを始めます。</p> <p>司会は ・ です。時計は さん・ さ ん、よろしくお願いします。</p> <p>今日のテーマは『大人と子どもでは、大人の方が得である。』です。それでは、初 めの主張です。どちらも今までの準備と 練習を生かし、自分の主張ができるよう がんばってください。聞くGは、主張を しっかり聞き、最後に納得いく方を決め てください。</p> <p>初めの主張(1分30秒ずつ)</p> <p>肯定 / お給料で何でもほしい物が買 える。運転免許を取れるので、車で好き な所へ行ける。</p> <p>否定 / 子どもは夏休みや冬休みな ど、長い休みがある。映画館などの入場 料が安い。</p> <p>聞くグループの相談(5分間)</p> <p>聞くグループによるフリートーキング をする。(10分間)</p> <p>最後の主張に向けての相談</p> <p>最後の主張(1分30秒ずつ)</p> <p>否定 /</p> <p>肯定 /</p> <p>聞くグループの判定(相談後)</p> <p>先生の話</p> <p>終わりの言葉</p>	<p>司会の始めの話の中で、そ れぞれのグループの学習課 題を確かめる。</p> <p>話すことの基本(大きな声 で、はきはきと、文末まで) を守らせて話をさせる。</p> <p>各Gの初めの主張担当者が 話す。(二人ずつ)</p> <p>できるだけ多くの子に自由 に質問や意見を発言させ る。</p> <p>肯定G、否定Gの答え担当 者が答える。</p> <p>どちらに説得力があったか を話す。</p> <p>みんなの考え方を広げる意 見、話の内容に説得力のあ った意見、チームワークを 感じる姿を具体的に誉める</p>	<p>・聞くGには、メモをとりなが ら聞かせる。</p> <p>・班で相談する時間をとり、自由 に意見を述べる足場作りをする。</p> <p>・話す内容に困っているGの手 助けをする。</p> <p><b>規準</b></p> <p>A 話す人の方を見たり反応し て聞いたりして聞き、ディベ ートに主体的に主張する。</p> <p>B 話す人を見て聞き、友達に支 えられながら、意見を述べてデ ィベートに参加しようとする。</p> <p>C 話す人の方を見ずに聞いて おり、全く挙手をしない。</p>

